

平成30年度自己評価結果の公表

ハービー&マックローリン・陽だまり介護センター(児童発達支援)

ハービー&マックローリン・陽だまり介護センターでは、サービスの質について、保護者アンケートを実施、結果を集計しています。

その内容をもとにスタッフ自ら評価を行い、今後の改善プランを策定し実施して参ります。

下記に各項目ごとの評価状況や今後の改善内容を公表致します。

自己評価結果や今後の改善内容を公表することで、みなさまに安心してご利用いただく一助となるためのものです。

なお、評価基準は、厚生労働省が定める「児童発達支援ガイドライン」をもとにした内容となっております。

	チェック項目	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	提供するプログラムにあわせて部屋を使い分けるなど、十分なスペースの確保に努めております。
	2	職員の配置数は適切である	心理学博士取得者1、心理学修士取得者4など、高い専門性をもったスタッフを確保してきており、また、非常勤講師として常勤スタッフのカバーしきれない専門分野のエキスパートの招聘にも力をいれているところでございます。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	多様な障害特性をもった利用者全員に最適化された構造化は難しいところがありますが、全ての利用者の皆様が快適に過ごしていただけるよう運用しているところでございます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	生活空間については適時清掃などに心がけ、運営しているところでございます。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	日々の業務の中で、振り返りと反省には留意しているところでございます。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	アンケートの結果だけでなく日々保護者様より頂くご意見も参考にしながら業務改善に努めています。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	結果をホームページで公開致しております。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	第三者評価についてはこれまでも適時実施してまいりました。今後とも適時実施するよう努めているところでございます。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	運営法人として経営計画の中の人材能力強化の取り組みで教育研修の取り組みを行っています。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	子どものアセスメントについては、該当児童の状況に応じたアセスメントツールを利用しているところでございます。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	子どものアセスメントについては、該当児童の状況に応じたアセスメントツールを利用しているところでございます。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	通所を希望される児童について、保護者の方の希望を聞き取りながら支援計画を作成しているところであり、これらの項目はガイドラインにも齟齬のないものと考えます。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	支援発達計画に沿った支援が行われると考えますが、さらに運営に留意しているところでございます。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	活動プログラムの立案は、ご利用いただく児童及び保護者の方の希望を聞きながら立案を進めております。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	活動プログラムは利用頂いております児童の発達の様子に応じて適時更新を行っております。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	利用いただく児童、保護者の方のご要望に応じて個別活動、集団活動を選択・組み合わせる支援を実施しております。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	支援開始前には支援の内容について適時職員間で確認を行うよう努めているところであります。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	支援終了後には支援内容・当日の児童の様子について報告を集め、状況の把握につとめているところでございます。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	支援の記録については、請求に利用する実績記録表のほかに実施の記録を行うよう努めているところでございます。
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	関係機関等とも情報共有を行いながら、定期的なモニタリングに反映させています。	

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	児童発達支援管理責任者を中心となり関係各位の意見を集約しながら進めているところです。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	現状では児童精神科医師との連携が多いところですが、必要に応じてその他の関係機関との連携も行っていきたいと考えています。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	現在は該当児童はいませんが、今後該当する場合などにはしっかりとした連絡体制を整えていきたいと思ひます。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	現在は該当児童はいませんが、今後該当する場合などにはしっかりとした連絡体制を整えていきたいと思ひます。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っています	保護者の皆様の要望に応じて適時対応するようにしております。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	保護者の皆様の要望に応じて適時対応するようにしております。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	現状では、児童精神科の医師による助言等をいただくことが多い状況ですが、児童発達支援センターなどとの連携についても機会を見て進めていきたいと考えています。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	年間行事の中で施設外での活動では障害のない子どもと活動する機会もあります。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	協議会などへの参加はできる範囲で適時行っているところです。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	当事業所をご利用頂いております児童の保護者の皆様とはできるかぎり子どもの発達の状況や課題について共有をはかっているところと考えております。
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	外部の専門家によるカウンセリングなど、利用児童に加え保護者の方にも参加いただけるプログラムを用意していることとさせていただきます。	
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	重要事項説明書等、説明資料を用意の上、できる限りのご説明に努めているところでございます。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	児童発達支援計画の作成と保護者からの同意の取得については、適切に行われるよう努めているところでございます。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	外部の児童精神科医師の紹介、利用可能なその他のサービスとの組み合わせなど、可能な対応を考えて取り組んでいるところでございます。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	クリスマス会など、保護者の皆様が同時にご参加いただけるイベントを通じ、保護者同士のコミュニケーションの場を設けるよう配慮しているところです。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	記録するとともに、原因や、対策も考え出来る限り迅速に保護者様、状況によっては関係機関にも周知するよう努めています。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	定期的な会報の発行などは特にありませんが、行事予定などは都度配布するようにしております。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	書類関係、写真画像等、個人情報に関わるものは丁寧かつ安全に管理しています。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	個々に合わせて情報伝達方法を配慮しながら行っています。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	今後は是非実施していきたいと考えております。

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	社内設置の委員会を中心に、マニュアルの策定、各事業所ごとに研修、周知を行っています。保護者様へも機会を捉えて周知を行って参りました。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	避難訓練の実施は行ってまいります。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	服薬や予防接種、てんかん発作の有無などは利用契約までに情報の提供をお願いしております。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	保護者様からの情報提供を基に、各児童に適した対応をさせて頂いています。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	事案が起きた際には、すぐに作成し周知するように徹底しています。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	社内にて虐待防止委員会を設置し、研修、定期的なチェックも行っていきます。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	現状では対象のご利用者様はいらっしゃいませんが、必要に応じて対応していきたいと考えております。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。